

## 目標設定について

### ●目標設定手法の場合分け

表1. 目標設定にかかる手法

	初期値	2031年の飛来数	2031年のつがい数	利用可能なパラメータ数	データの信頼度	統計的な信頼度	生態学的な要素	備考
飛来の目標 (図1)	32羽 (2012年)	116羽	47つがい	○ (付表1.2)	○	○	◎	・閉鎖系であるため、 個体の移入は考慮されていない ・使用した生データが 少なく、論文を参考に したデータが大半
		175羽程度	72つがい	△	△	△	×	・近似曲線は傾向を示 すもので、10年先の データは不確実
繁殖の目標 (図2)	12つがい (2012年)	266羽	110つがい	△	○	△	×	・死亡率・環境変動に よる影響など生態学的 な要素は考慮されてい ない
		305羽	126つがい	△	○	◎	×	

※ 推定つがい数 = 飛来数 \* 繁殖参加率 (82.58%) / 100 / 2

※ 推定飛来数 = つがい数 \* 2 \* 100 / 繁殖参加率 (82.58%)

●飛来の目標

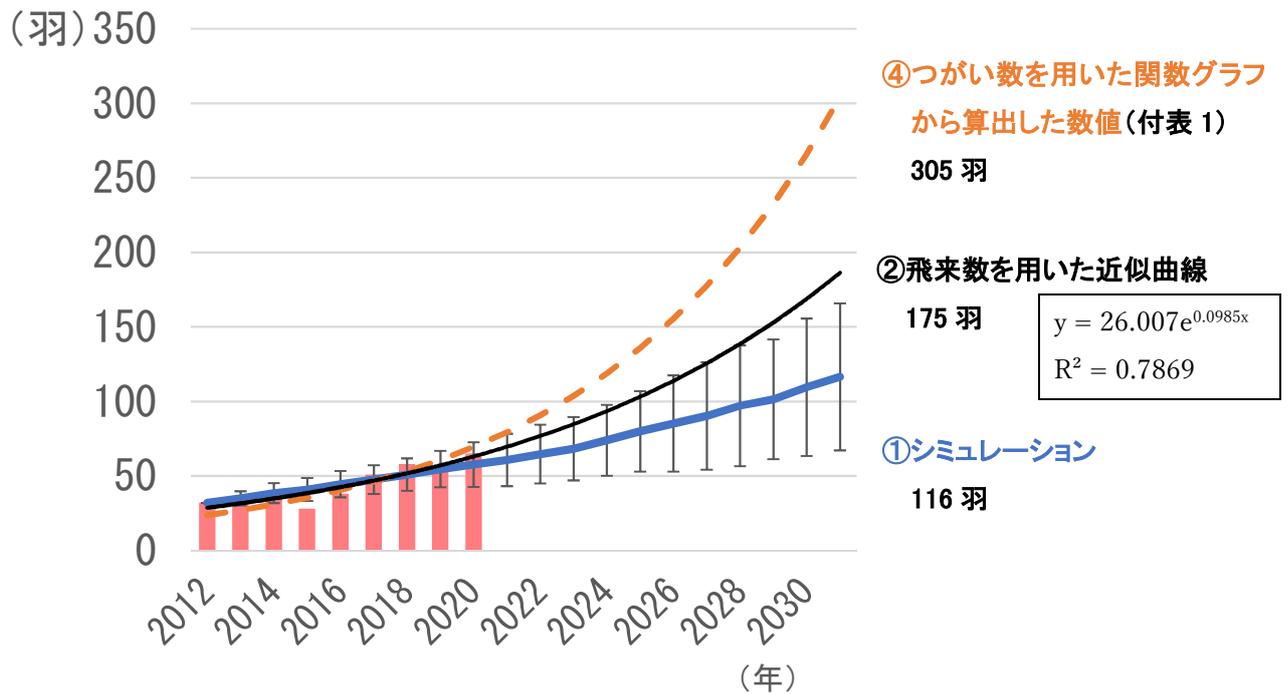


図 1. 飛来数を用いたシミュレーションおよび近似曲線による予測

●繁殖(つがい数)の目標

2012年(捕食者対策強化後)～2019年までのデータを用いた指数関数によるつがい数予測

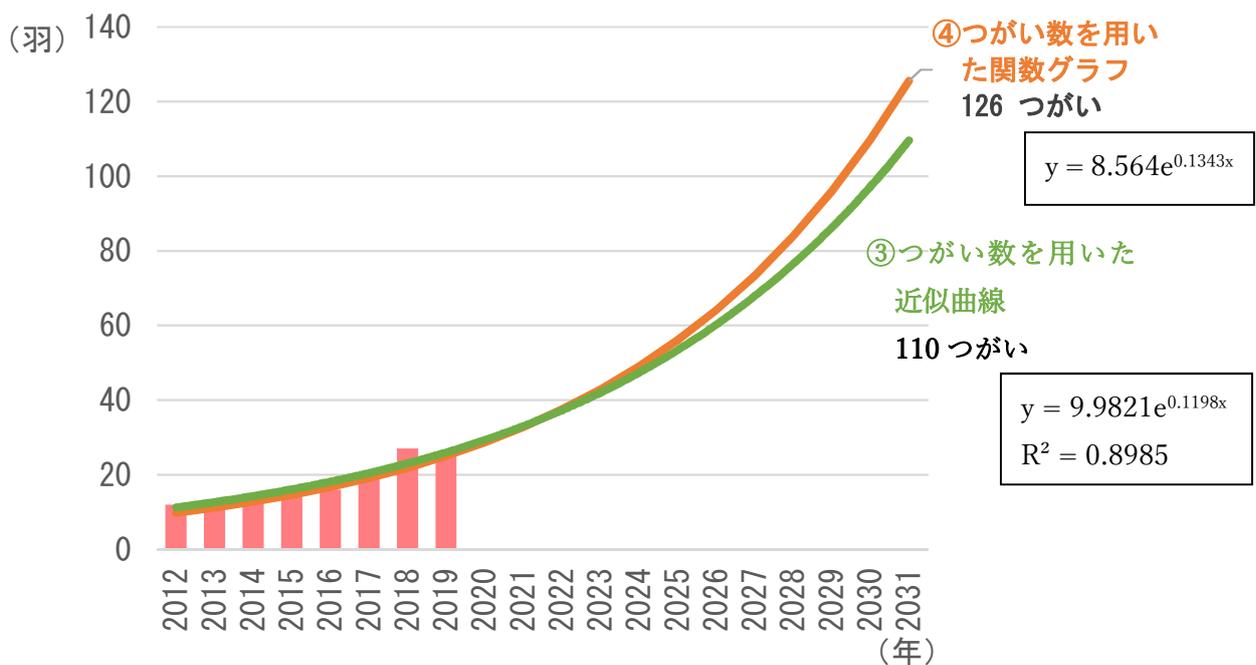
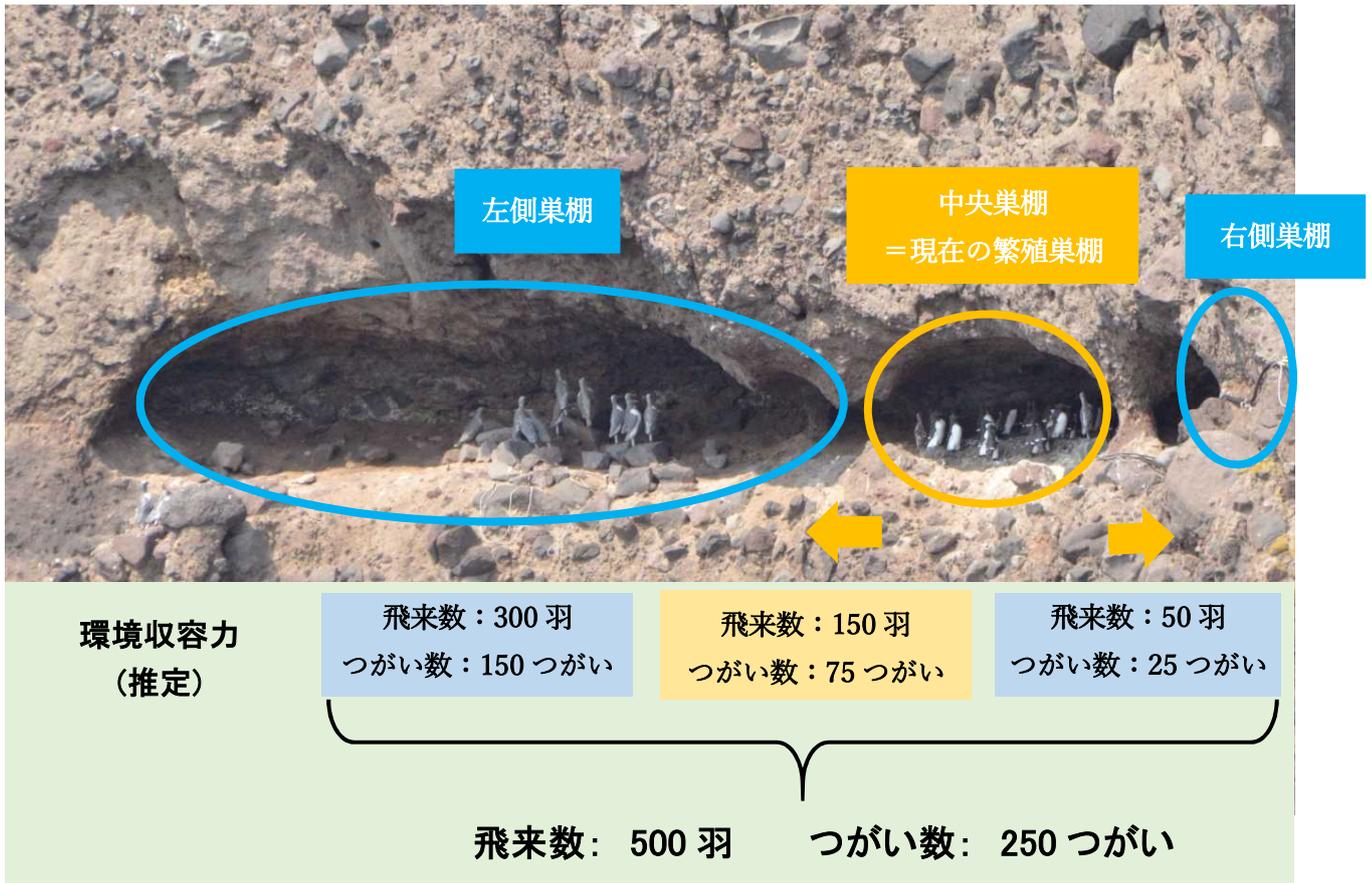


図 2. つがい数を用いた指数関数グラフおよび近似曲線による予測



(参考)